

# 大道芸 アジア月報 2022 年 11 月

vol. 33, no. 11

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

## ★大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>

■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 [www.studioeggs.com](http://www.studioeggs.com)

■東京都へブンアーティスト [www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/](http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/)

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※新型コロナウイルスの蔓延状況によって実演していない場所もあります。確認の上、お出かけください。

## ★今月の大道芸公演

△高円寺フェス～秋の大文化祭～2022 <https://koenjifes.jp/2022/> ○高円寺駅周辺

●10月29（土）/30（日）

駅前プロレス&ライブ

△民俗芸能 in としま 2022 <https://toshima-pjt.jp/minzoku-geinoh2022/> ○池袋西口公園野外劇場

●10月30（14：00～19：00）

長崎獅子舞（豊島区）、富士元囃子・寿獅子（豊島区）、鬼剣舞（二子流東京鬼剣舞）、南部神楽（神楽乃朋友）、秩父屋台囃子、寿三番叟（あきるの市・菅生歌舞伎）、津軽三味線（小山会青年部）、進化系お囃子プロジェクト（斉藤真文）、浅草雑芸団+すずめのティアーズ with 中西レモン

△第 26 回深川美楽市大道芸 <https://birakuichi.wixsite.com/birakuichi/> ○江東区深川江戸資料館通り

●10月30（日）11：00～17：00

3 ガガヘッズ、HOOPER MAEP、komatan、たかくわみえ、ちはる！、創作傘回し研究家レオ、大道芸人ジーニー、虹たまや、熱血大道芸人ドラマチック・ガマン、八幡雄士、ハードパンチャーしんのすけ、おろしぼんづ、キノコの国の住民、アンデスじろう、しろみときみ、淳慶仏、パト、妖怪すたちゅー豆腐の…小僧…？、もんぶち & ToKo、KOTA、生人形雪狐

△西の市・新宿花園神社・見世物 <https://event-checker.info/hanazono-torinoichi/> ○新宿花園神社境内

●11月3（木）前夜祭～4（金）本祭

●11月15（火）前夜祭～16（水）本祭

●11月27（日）前夜祭～28（月）本祭

△大道芸ワールドカップ in 静岡 2022 <https://daidoge.com/> ○静岡市・駿府公園ほか

●11月4（金）～6（日）

【レジェンド部門】 Witty Look、サブリミット、サンキュー手塚、タカパーチ、デビットラムゼイ、TEN-SHO、道化師びり、ふくろこうじ、三雲いおり、Mr. アパッチ、山本光洋、渡辺あきら、

【オン】 アスタリスクノヴァ、izuma、idio2、しよぎょーむじょーブラザーズ、SPIN stAr、張海輪、Performer SYO!、まろ、まわりみち、めりこ、りずむらいす、Ray 麗、渡邊翼、アストロノーム、オーバートーン、ジェンガ金次郎、しろみときみ、中村友美、BIG Roots、プリコロハウス、油井ジョージワンマンバンド

△豊岡 meets 大道芸 2022 後編 [https://twitter.com/toyooka\\_meets/status/1585926916162617344](https://twitter.com/toyooka_meets/status/1585926916162617344)

●11月5（土）6（日）○市役所本庁舎前市民広場 出演：ゼロコ

●11月12（土）13（日）○植村直己冒険館 出演：長岡岳大&めぐみ梨華

●11月14（月）15（火）○出石家老屋敷、出石地区イロドリマーケット 出演：太平洋、音姫金魚

△ガールズ チンドン フェスティバル 東京公演 <http://bentenya.jp/> ○浅草木馬亭

●11月9（水）昼の部 14：00 / 夜の部 18：30

出演：べんてんや、チンドン芸能社 スペシャルゲスト：江戸家小春

前売¥2500（当日¥3000）

問合せ・申込み：電話090-8541-7024 べんてんや事務局

△さいき大道芸フェスタ <https://twitter.com/saikibigbang/> ○大分県佐伯市さいき城山さくらホール附近

●11月12（土）13（日）

渡辺あきら、KANA∞、idio2、深河あきら、CHISHA、大道芸人ひろと、ミスターブンブン、めりこ、マスクマスク・マンマン、

ガンジスインダスドードス、あきらとひろと、カナルペキノワ、ザ・スタッカート

△にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸 2022 <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/material/files/group/45/daidougeiomote.jpg>

●11月12(土)13(日)11:00~18:00 ○小田急線本厚木駅周辺

中国雑技芸術団、Funny Bones、加納真実、芸人まこと、ココナツ山本、SUKE3 & SYU、Asterisk NOVA、フレディーノ、サクノキ、セクシーDAVINCI、Juggler Laby、ネコ☆ソギ、AJIA GOLD PRO WRESTLING、松鶴家天太、TSUBAKI、ボールド山田、アストロノーツ、竹内直カルテット、ブラックエレファント、オジロス、K-TARO、STILTANGO、せせらぎ、HARO、Okk、performer SYO!、桔梗ブラザーズ、PerForMer ZEN、油井ジョージワンマンバンド、EPPAI&マサトモジヤ

△花と緑の大道芸フェスティバル in 長居植物園 <https://twitter.com/npokpa/status/1575320711542894593>

○大阪府大阪市東住吉区 長居植物園

●11月12(土)11:00~15:40 HOOPER MAEP、大道芸人すごろく、勇登 BEATS、リスボン上田、ロッキイー

●11月13(日)11:00~15:40 安慶 age、カキツパターズ☆、ジャグラーみぞん、シンクロシティ

△大東京商店街まつり <https://daitokyoshotengaifes.jp/index.html#daidougei> ○東京都庁・都民広場

●11月12(土)13(日)

HIBI★Chazz-K、なつかよ、Pere Jovanov、沙羅璃、エキセントリック吉田、izuma

△小江戸川越・玄人チンドンフェスティバル <http://www.creamall.net/> ○川越市・クレアモール

●11月13(日)11:00~16:00

出演：チンドン芸能社、菊乃家

△第3回たかつき大道芸グランプリ <https://twitter.com/hook25848328> ○大阪府高槻市 安満遺跡公園

●11月13(日)10:00~16:00

tete、hoopermaep、Boxtheater HANA、カラーコーンダクターあつき、風船師ヨッシー、ミスターユー、EntertainerMIKIYA、けん玉パフォーマータイガ、【第二回優勝者】Asrerisk NOVA

△第4回日本大道芸フェスティバル <https://daidougei.net/> ○愛知県東海市・太田川駅前広場

●11月19(土)20(日)

アスタリスクノヴァ、idio2、加納真実、GABEZ (19日のみ)、C3hammps(20日のみ)、Syan、SPIN stAr、ゼロコ、ちはる (20日のみ)、ナニコレ?劇団、ホワイトアスパラガス、三雲いおり、めぐみ梨華 (20日のみ)、めりこ、りずむらいす、Ray(20日のみ)、わっしょいゆへた (19日のみ)、GOROPIKA・日本大道芸フェススペシャルバージョン (19日のみ)

参加費・一日¥1000 (小学生以下無料)

△第7回久留米たまがる大道芸 2022 <https://kurumecityplaza.jp/events/4212/> ○久留米シティプラザ

●11月19(土)20(日)

中国雑技芸術団、FUNNY BONES、芸人まこと、Mr. BUNBUN、ココナツ山本、SUKE3 & SYU、セクシーDAVINCI、てのひら、ブラックエレファント、オジロス、K-TARO《久留米初出演》、STILTANGO、HARO

△第3回横浜ユーラシア スタチュエ・ミュージアム <http://www.eurasia.city.yokohama.jp/news/statue2022/>

○日本大通り、横浜中華街、横浜ユーラシア文化館・横浜都市発展記念館、横浜開港資料館

●11月19(土)20(日)10:00~16:00

両日：赤い靴の女の子、アマビエちゃん! 2022、ヴェネチア人形、自由な女神、June bride、少年と少女、なにみてるの、兵馬備1号、兵馬備2号、舞夢男爵、メリーさんの執事

19日(土)のみ：石田さん、ヴィーナスの誕生、狼執事、ドール、ポワントの妖精

20日(日)のみ：雨の記憶、イロノナイ世界、ケンハモたろう、招福、ペインター

△亀戸梅屋敷文化まつり [https://twitter.com/koto\\_aimashow/status/1565928484576579585](https://twitter.com/koto_aimashow/status/1565928484576579585) ○亀戸梅屋敷

●11月23(水)10:30~16:30

三雲いおり、りずむらいす、伊藤祐介、ロコモコブラザーズ、しょぎょーむじょーブラザーズ、エントラード

△聖徳太子 1400年遠忌によせて <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html> ○国立能楽堂

●11月24(木)17:30開演

御絵解き・聖徳太子絵伝(富山県南砺市・瑞泉寺)、能・夢殿(友枝明世・喜多流)

入場料：正面席¥6400、脇正面¥4900、中正面4000、(学生割引あり)

電話申込み：0570-07-9900(国立劇場チケットセンター)

△大道芸 with イルミネーション [http://www.civic.jp/center/today\\_event/](http://www.civic.jp/center/today_event/) ○日立市・シビックセンター

●11月26(土)13:00~18:00

中国雑技芸術団、大駱駝艦、FUNNY BONES、ココナツ山本、加納真実、芸人まこと、SUKE3 & SYU、Asterisk NOVA、TSUBAKI、ブラックエレファント、オジロス、K-TARO

△第69回全国民俗芸能大会 <https://teket.jp/1458/5588> ○日本青年館

●11月26(土)

昼の部(13:00~17:00)

静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞(静岡市)、チャッキラコ(神奈川県三浦市)、岩村町獅子芝居(岐阜県恵那市)、石鳩岡神楽・土沢神楽(岩手県花巻市)

夜の部(18:00~20:00)

石鳩岡神楽・土沢神楽

入場無料(要申込み)：上記URLにアクセスして申込みください。あるいは下記に往復はがきで、お申込みください。

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館公益事業部あて、往復はがきで、名前・郵便番号・住所・枚数を明記して。

一枚のはがきで2名まで。

△見世物学会第22回総会 ○東京藝術大学取手校舎第4教室

●11月27(日) 13:30~15:00

記念公演・和田修(早稲田大学准教授)/演題「風流・飾り物・仮装」

参加料・資料費として¥1000、学会員は無料

申込みが必要です

△シルヴプレ第12回公演『レザニモー、ココにも』 <https://svp.twinstar.jp/> ○横浜市・人形の家あかいくつ劇場

●12月3(土) 13:00~ / 17:00~

●12月4(日) 11:00~ / 15:00~

前売¥3000(当日¥3500) ※18才以下・前売¥2000(当日¥2500)

問合せ: [accircusticket@gmail.com](mailto:accircusticket@gmail.com) 電話:090-4595-3512 アフタークラウディカンパニー

△ガールズ チンドン フェスティバル 名古屋公演 <http://bentenya.jp/> ○名古屋市・西文化小劇場

●12月9(金) 昼の部 14:00 / 夜の部 18:30

出演: べんてんや、チンドン芸能社、ちんどん鈴乃家

前売¥2500(当日¥3000)

問合せ・申込み: 電話090-8541-7024 べんてんや事務局

△台東区竜泉・西徳寺・帰命法会芸能奉納 ○台東区竜泉・真宗仏光寺派・西徳寺

●12月11(日) 13:00より法要、14:00~16:00 伊瀬大神楽山本源太夫組

お初穂料¥1000

※11月27日(日) 14:00より、同寺にて、ドキュメンタリー映画「それでも獅子は旅をつづける」上映会

問合せ・予約: 03-3875-3351(西徳寺)

△ソーシャルサーカスフェスタ in 象の鼻 <http://www.slowlabel.info/> ○横浜港・象の鼻テラス

●12月11(日) 13:00~17:00

△東京ドキュメンタリー映画祭 人類学 <https://tdff-neoneo.com/> ○新宿、K's シネマ

●12/13(火) 10:00 ●12/22(木) 10:00 「それでも獅子は旅をつづける 伊勢大神楽」(神野知恵・山中由里子)

●12/13(火) 12:05 ●12/18(日) 10:00 「ウムイ『芸能の村』」(ダニエル・ロベス)

●12/13(火) 13:55 ●12/22(木) 12:05 「ミステリーズ」(ダニエル・グレコほか) 「チュブック」(多摩美大)

●12/13(火) 16:05 ●12/22(木) 14:15 「シャーマンと芸能者(短編集)」(川瀬慈、松永由佳、和崎聖日ほか)

チケット: ¥1500均一(小・中・シニア¥1000) 特別鑑賞券あり \*前売りはwebで鑑賞日の3日前から上映30分前まで

若林正の

## 食って極楽

寿司とラーメン・・・横浜・野毛

「野毛すし・釣りきん」

今年は舞台三昧で8月の公演終了後、間を空けず横浜での舞台があった。コロナ禍で三年間延期になっていた企画である。贅沢にもホテル宿泊で盛況好評であったが、ひとつ心残りがある。歩いて10分程で野毛の飲食街に行けるが、スタッフや共演者と酒飲むのは感染対策で自粛なので、結局コンビニで弁当とビールを買って部屋で一人寂しく食べるしかなかったこと。だが横浜まで来て、ネタ無しはあんまりだ。

なので、最終日の夜は桜木町駅前を探索。うろついていると、寿司の看板なのに暖簾には「すごい煮干しラーメン」とある店を発見!

「野毛すし・釣りきん」。なんとラーメンと寿司をセットで食わせるらしい。券売機には色々なラーメンセットが。とりあえずラーメン寿司五貫セット¥1300を選ぶ。客はオシャレな女性客やカップルが多く、小汚ないワタシは浮いている。出て来たラーメン見覚えが? 一口すすり、有名な店のラーメンと分かる。暖簾分けか。遅れて寿司到着、中トロにブリ等小ぶりでも美味そうな面構え。

ネタは新鮮でシャリは赤酢、本格的



で旨い寿司だ!! ラーメンは云わずもがな。ただ…もっと寿司だけ食いたい。ラーメンとの相性も煮干し味だけに悪くはないけど、なんでわざわざ合わせるのかな? 各々は文句無しに美味しいので、目新しさを狙ったのだろうか。○んまいが、又わざわざ行くか? 度=4ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

☆その372

## 静岡大道芸、再び不祥事

上島敏昭

○日本最大の大道芸フェスティバル

大道芸ワールドカップ・イン・静岡が再び揺れている。8月号にひきつづき、今回も、静岡市で行われるこの大道芸大

会について記す。

8月号では、2018年に起こった日本人パフォーマー・ノーギャラ問題に端を発する問題について記した。ギャラ問題はパフォーマーが団結して抗議したことで同大会実行委員会が決定を撤回し、プロデューサーが辞任して事態を納めた。しかし、これによって同大会に対するパフォーマーのかねてからの不満が爆発し、運営や組織に

対して多くの疑惑(おもに金銭面)を解明するよう要求した。

それに対する静岡市と同実行委員会の対応が不誠実だと抗議して、有力パフォーマーがぞくぞくと、本年の大会に不参加を表明している、というものだった。

今回の騒動は、前記の問題をうけて辞任した実行委員会によって誕生した、新実行委員会がひきおこした新た

な外国人差別問題である。地方都市とはいえ、日本最大の大道芸大会での、ある意味、国際問題であるだけに、マスコミも事態の解明を求めて、いくつもの記事が発表された。その概略、経緯については、現在（11月2日）時点で、検索可能なHPのURLをひとつ貼しておく。

<https://www.nhk.jp/ts/5MN78XKQYX/blog/bl/pE02pD9eDo/bp/pdYnx2GYgO/>

## ●問題となった人権問題文書

まず、事態の経緯を記そう。問題となったのは、新プロデューサーとなった奥野晃士氏が、9月17日におこなった、同大会の「ポイントリーダー講習会」で配布した文書と発言だった。

ポイントリーダー講習会 2022.09.17

### ◎日本人の精神性の根拠は武士道？

世界的に見ても、日本人は礼儀正しく、規範があると認められています。しかし、その根拠は学校で教わったものではなく、自然と身につくものである。一次、私たちは何から、礼儀正しく、規律を身につけたのでしょうか？

その答えとなるのが新野副総監の「武士道」という本に書かれています。私たちに自然と身につくというものの根拠は、実は「武士道」が根拠です。  
『私たちは身につけていないが、私たちの根拠には規範の元として武士道が輝いている』 武  
士道 新野副総監

### ◎無常思想（二宮金次郎）の語つたテーマと大道芸精神

無常……自身と他者ととの関係を客観的に見つめ、弱を高め、心を空ける。  
無常……道徳の規範で生きていく道徳観を育む。道徳を行動で示す。  
分限……無常をなくし、適切な境界を定める。  
修練……分限で修った資質や資質を、市民や社会に還元する。

### ◎茶道のおもてなしの精神（利休七郎）

#### 「利休七郎」

1. 茶は目のよきように点て（茶人は客人の状況や気持ちを考えて点てて来い）
2. 炭は目のよきように置き（準備はポイントを押さえて臨むこと）
3. 夏は涼しく冬は暖かにもてなは、道具や着るものを着て相手の心もよき感じられるよう）
4. 花は目のあるように掛け（花言葉の美しさを生かす力を添え、本質を表現する）
5. 茶碗は早めに（何事も準備を整えることなく、心のゆとりをもって行うこと）
6. 湯を落とす湯の用意（どんな時でも臨機応変に対応でき、相手の為に万全の備えをする）
7. 煎茶は心をこめて（茶と茶、そして客同士も、近い距離感で心を配りなさい）

### ◎大道芸とは？

大道芸は、路上や街頭、などで行われるさまざまな芸能の総称。路上パフォーマンス、またはストリートパフォーマンスとも呼ばれる。路上での演藝タイプ、ストリートライブとは異なるが、一般的な総称としてストリートパフォーマンスと称されることもある。

■大道芸と新野副総監の「武士道」の根拠を合わせたロードで演藝可能なパフォーマンスであれば、ジャンルは問いません。もしも規範のないパフォーマンスを歓迎します。

◎前提：それをやる者がいる前提において、身体による技術の発表、何かを表現する行為。

◎Performance：演説、作劇（演劇）の演説、公演（演劇）の発表。

◎Jerry Grossaki (1933-1999) 「質しき演劇を目ざして」発表。俳優の肉体を演劇の唯一の本質とみなし、他の付随的要素、文学性、衣装・装束・照明・音楽などを排除する。

奥野氏が配布した文書はA4判、数枚組のもの。ここに掲載したのは1枚目である。「大道芸W杯 in 静岡 2022 ——何を継承し、何を刷新していくべきか？——」と記し、プロデューサー 奥野晃士と署名したうえで自説を展開している。

「2022年は日本人パフォーマーによる日本人らしい祭典を目指す」としたうえで、「①日本人とは？」と問い、「日本国に国籍を持つ人」以下、「日本列島に居住する民族」「上記の民族を自らのアイデンティティとする人」「日本語を母語とする人」などと日本人の定義づけをした後、「Y染色体」まで持ち出して、どうたらこうたら・・・と書いてある。2枚目以降では、日本の武士道を賞賛し、中国人を貶める文言を記しているという。

正直なところ、大道芸大会にむけての講習で、なぜこのような発言をする必要があったのか、理解に苦しむ。また、軍

隊用語を用いたキャッチコピー「静岡的大道芸スタイルで、欧米にアボルダージュ（接舷）！」との表記もあったとのこと。アボルダージュとは敵艦に乗り移って斬り込む戦術というから、かなり物騒でもある。

## ●会議から騒動の経緯

この講習会の参加者は約10名だった。当日はさらに過激な中国蔑視発言もあったといい、途中で一人の出席者が発言し、「スタッフには外国の人もいる。このような意見は受け入れられない」と反論したものの、結局、そのまま有耶無耶にされて、その講習会は終了したらしい。「あとで説明する」と実行委員会側が発言者を遮り、散会したとも聞かすが、その後、何の連絡もなかったため、10月になってから、おそらくこの発言者が、公表し、SNSで拡散して、大騒動になった。そうなる前から、プロデューサーが謝罪し、辞任を表明。さらに新聞、テレビなどが問題視すると、実行委員会が謝罪会見を開いた。それが10月7日のこと。1時間30分以上の長い会見だが、この場で、プロデューサーの奥野氏と実行委員長の杉山茂之氏が引責辞任することが発表された。二人とも、着任したばかりだった。そしてやはり着任したばかりの副実行委員長・猪股宏光氏が実行委員長代理となった。記者会見では、猪俣氏こそが、事前にこの文書を確認し、会議にも出席していた当事者であることを指摘され、不適切ではないかとの質問も出たが、「納得している。この記者会見の様子はyoutubeに公開されている。

<https://www.youtube.com/watch?v=VtyOciWBOO4>

記者会見の時点では、本年の大会は開催中止か、実行委員会は判断を保留し、10月17日に発表するとした。それを聞いて、出演パフォーマーの渡辺翼氏が、「実行委員会は市民にも出演者にもきちんと公開で説明せよ」と実行委員会に注文をつけた。先の記者会見で実行委員会が、「パフォーマーからは不参加の意向は聞いていない」と発言していたことへの反論である。その後、10月15日に、ほぼ予定通り開催すると発表した。そして奥野氏が関わっていたオープニングセレモニーは中止し、再発防止策として実行委員会全体を管理する「組織管理グルー

プ」を設置したことも明らかにした。一方、渡辺氏の要求した公開での説明は拒否。そこで渡辺氏は公開説明を求めて、SNSでの署名を集め、610名の署名をバックに、10月27日に記者会見を行い、改めて公開説明を迫った。その結果、11月4日に希望する出演者と実行委員会とで話合う場を持つことで合意し、本人も出演を決め、出演料と投げ銭は全額寄付すると発表した。

事態は、刻々変化しているの、今後、どうなるのか、予断を許さないものの、おそらく、これで騒動は終息したとみてよいと思う。

## ●それでも疑問ばかり

しかし、この一連の流れを書いても、腑に落ちないことばかりだ。そもそも、なぜ奥野という大道芸とは縁もゆかりもない人物がプロデューサーになったのか。またプロデューサーとは何をする役目なのか。プロデューサーがいなくなっても大会が出来るなら、いらぬのでは？ 問題の起点となった「ポイントリーダー講習会」とは何を講習する場だったのか。またその出席者で、内容に疑問を感じたのは一人だけだったのか。出演パフォーマー33組のうち、公開説明会を求めた渡辺氏以外に、不参加は1組のみという。大山鳴動してねずみ一匹？ 今年は、大会事務局に不信感を抱いたパフォーマーが、すでに大会不参加を表明していたという面もあると思うが・・・。パフォーマーだけでなく、ボランティアスタッフから、誰一人発言がないのはどうしたわけか？

おそらく今年の静岡大道芸は一見、例年通りの大会になるのだろうが、「ホントにそれでいいの？」とは思ふ。

また、この騒動をみて思ったのは、この大道芸大会はオリンピックと似たような構造ということ。大会の主催者は実行委員会というボランティア組織で、市には担当部局があり実行委員会をコントロールし、運営の金は市と協賛企業が出す。このため責任の所在が不明で、問題が起きても対応はにぶい。またそれぞれの内部も見えない。あえていえば、わからなくするためにこうした組織にしているような気もする。

P.S そんなことを思っていたら、元実行委員だったという人がノートに実行委員会についての考察をあげていたので、URLを貼っておきます。

[https://note.com/dear\\_dwc/n/na17aed86ac76](https://note.com/dear_dwc/n/na17aed86ac76)